



一商だより

第1号

宮城県一迫商業高等学校
平成27年4月25日発行

〈本校校章の由来〉

「高」の文字を八ツ鹿の角で囲み、郷土の代表的な植物「石楠花」の葉と、ソロバンの珠を放射線状に配置している。郷土の文化と豊かな自然に支えられ、放射状の配置は我が校の限りなき発展を象徴している。

暖かくなったり、また冬に戻ったりと、落ち着かない気候が続いています。3月1日には71名の生徒が巣立っていきました。東京に就職したA君は大丈夫だろうかなどと考えているうち、4月1日には8名の新しい職員が着任し、8日の午前には始業式、午後には57名の新入生を迎えた入学式を済ませ、新しい年度「平成27年度」が始まりました。

HELLO!! ハロー初めまして 4月着任職員を紹介します

佐藤 聖仁 (商業科) 新規採用	卯野 友美 (商業科) 育休からの復帰
杉浦 瑞穂 (英語科) 新規採用	佐々木夏枝 (事務次長) 育休からの復帰
小野寺志乃 (事務主事) 古川高校より	
鈴木 桃子 (英語科) 講師	ひとつヨロシク!
高橋 翔太 (理科) 非常勤講師	お願いします。
日野 有貴 (音楽科) 非常勤講師	

Introduction!! イントウロダクション 校長先生のお話しを紹介します

〈始業式 4/8 -ちょうど8日に学校の桜が開花しました-〉

「桜は4月になると必ず花を咲かせ、私たちを楽しませ、和ませてくれる。綺麗だからと自慢しないし、ほめてくれとも言わないし、アピールもしない。黙って自分の使命を果たすだけの、桜のような人生を目標に生活したい。」と出だしから仙人のようなお話をされました。(校長先生の独り言なのか、誰かへのメッセージなのかは、聞く人によって変わってくる言葉でした。)

お話の観点は4つありました。

まず1つ目は「今日から2年生・3年生であるという自覚を持って、下級生の見本となるような行動をなささい。」 2つ目は「高い合格率を誇る資格取得については、これからも頑張りなささい。」 3つ目は「常に社会人だったら、どうするかと考え、大人がとる行動を当たり前出来るようになりなささい。」 4つ目は「みんなが笑顔で学べる学校にしてほしい。」そのためには、みんなが回りのことを考え、思いやりを持って行動をすることが大切で、けんかや盗難、いじめはいけないという内容でした。

最後に、元テニスプレーヤー 松岡修造 氏「日めくり まいにち、修造!」からウサギとカメの話を紹介し、今年度の生徒へ応援メッセージとしました。

「カメはベストを尽くした。君はどうだ?ウサギとカメを読んで僕はこう思った。ウサギはカメに勝つことだけを考えていたから昼寝をした。でもカメは最初からウサギなどまったく気にしていなかった。ただひたすらゴールだけを見て、自分のベストを尽くした。夢に向かうときは他人との比較や競争は必要ない。自分が決めたゴールだけを見て、ベストを尽くせば良いんだ。夢を叶えたいなら、君もカメになってみないか。」

Introduction!! イントウロダクション 校長先生のお話し紹介します-再び-

<入学式 4/8 -式辞- > 校庭の桜の花もほころび新しい春の訪れを感じるこの佳き日～

(略) 現在の日本では、中学校を卒業した生徒の九十八%が高校進学する時代とはいえ、高等学校は、やはり義務教育ではありません。義務教育を終え、もっと学びたい、もっと自分を高めたいという者だけが入学する学び舎です。

私たち職員は、皆さんの心身の発達と進路希望に応じた教育をいたしますが、一番大切なのは皆さん一人ひとりの強い意志と自覚、更には将来を見据えた意欲ある、粘り強い努力です。皆さんの、夢の実現に向けて、一年生の時から、資格取得や部活動に取り組み、思い描く目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。

さて新入生の皆さん。

人は失敗や挫折を経験し、それらから学ぶことで成長します。人は誰でも幸せになりたいと願います。しかし、夢を叶えたいとか、幸せを掴みたいのであれば、あなた自身が何かをしなければいけません。試験の成績を上げるためには勉強しなければならない。心の中ではもっと勉強できたとわかっているのに、今まではおそらく、成績が上がらないのは部活の大会があったからだとか、頭が痛かったからだとか、言っていたことはありませんでしたか。それではいつまでも大人になれません。今こそあなたは変わるのです。「あなたの過去は変えられないけれども、あなたの未来は変えられる」のです。そして、それはあなたにしかできません。

自分の中の悪いところを捨て、夢を叶える、幸せを掴むために、将来の日本を支える一人であることを自覚し、様々な困難に立ち向かい、それを乗り越えながら進んで行く力強さを、この三年間で身に付けてください。(略)

失敗したら励ましてくれる友がいる。成功したら喜んでくれる友がいる。

生徒みんなが笑顔で生活できる学校で、一つ大人になった気持ちで、今までの自分を見つめ、充実した生活を過ごし、大人への階段を一步一步のぼって行ってください。(略)



Thanks & Please 御礼とお願い -地域の皆様方へ-

本校は県立高校でありながら、開校以来、皆様方に支えられ、栗原市一迫(旧 一迫町)と共に歩んで参りました。おかげさまで本校生徒は挨拶・服装をはじめ、一定の評価をいただき卒業生の希望進路達成は毎年 100%となっています。これも一重に皆様方のおかげと感謝申し上げます。感謝の気持ちを忘れず、「地域を支える・日本を支える人材の育成」のため、学校創りを進めて参ります。今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。

電話 0 2 2 8 - 5 2 - 4 1 1 2 (教頭 狩野)



4月9日 部活動紹介の様子